

中期経営目標(実施期間 H30～R4)

- ① 入館者を5年間で7%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。
- ③ 利用者1人あたりの一般財源投入額を5年間で7%削減します。

1 中期経営目標の進捗状況

測定指標	基準値	実績値(H30)	中間目標値(R2)	最終目標値(R4)
① 入館者数	6,123人	6,826人	6,430人	6,550人
② 利用者アンケートによる満足度	95%	100%	95%以上	95%以上
③ 利用者1人あたりの一般財源投入額	502円	521円	476円	467円

2 平成30年度における主な取組内容

(1)施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取組

- ①館内施設の有効利用の強化
 - ・「能登里海研究所里海セミナー」, 「海と日本プロジェクトinいしかわ」, 「宇出津小学校の身のまわりの海の生き物についての学習」などを当館のオーシャンシアター等で開催した。
 - ②地域イベントとの連携
 - ・「能登小木港イカす会」や「のと里山空港クリスマスイベント」などにブースを設置し、出張工作教室を実施した。
 - ③水産総合センターとの連携強化
 - ・水産総合センターで生産した種苗を活用した「アユのつかみ取り体験」(延べ4回)や「ヒラメの体験放流」(延べ3回)および地元の海藻による「ところん作り教室(延べ1回)」の実施に併せて、アユおよび海藻に関する学習プログラムを実施した。
 - ④展示内容の充実
 - ・旬の漁業コーナを新設し、「寒ブリ漁」「ズワイガニ漁」「カキ養殖」と季節に合わせたパネル展示を実施した。
- 以上の取組の結果、入館者数、満足度とも増加し、最終目標値を上回った

(2)施設運営の効率化に向けた取組

節電・節水等の経費節減に努めましたが、電気および灯油単価の値上がりによる光熱費の増加並びに展示内容の充実による消耗品費の増加により、施設管理費・消耗品費が基準年に対して10%増額した。
その結果、利用者数あたりの一般財源投入額は基準値を上回った。

(3)その他の取組 (1)、(2)以外の取組があれば記載

なし

3 平成31年度における取組内容の見直し等

めまぐるしく変化する漁業環境(水温の変化やそれにとまなう魚種変化)を正しく認識してもらうため、本県の最新の漁業情報に関する展示を適時更新していく。これにより、利用者満足度をさらに向上させるとともに、再利用者数の増加を目指す。